

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子

おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

港区立南山幼稚園 NANZAN Kindergarten



6月園だより

〒106-0046

港区元麻布 3-8-15

平成30年5月31日

5歳児さくら組の海賊ごっこ。凶鑑で見て調べて、そのイメージを楽しんでいます。



5歳児が作った海賊船が3歳児りんご組の保育室前にやってきました。



4歳児は、5歳児に憧れて、海賊のダンスを教えてください、一緒に楽しんでいます。



出会いと育ち合いの場を保障する環境の工夫

園長 小久保 篤子

先日行われた南山小学校の運動会では、保護者・地域の皆様からたくさんのご声援をいただき、本当にありがとうございました。

5歳児さくら組は、開会式から張り切って参加しました。その後の全園児による演技においても、3歳児の手を引く姿、リズムにのり声を合わせて表現を楽しむ様子には、年長組としての頼もしさとたくましさを感じることができました。

さて、今年度から、多目的室（未就園児の会、サポート保育、PTA活動などで使用）を2階に、4歳児の保育室を1階へと移しました。そこには、3・4・5歳児が互いに関わりを深め、もっと戸外に出て遊び、もっと互いに遊びの刺激をし合ってほしいという願いを込めています。そして全職員で、「他学級・他学年の遊びに目を向けつつ、自分の学級の保育を考えていく」ことを共通理解しています。

小学校運動会后、互いに自然に関わり合い、刺激をし合う幼児の姿が、1階の空間で見られていました。5歳児が、4歳児に海賊の踊りを一緒に踊りながら教えていたのです。4歳児が少しずつ踊りを覚えてくると5歳児は後ろから見守り、4歳児が踊りを覚えて夢中になっている頃には、もう5歳児はその場からはいなくなっていました。

幼稚園の5歳児は、3・4歳児にとっては憧れの存在。その姿が何よりの手本となります。このような自然の関わりによる学び合いの機会、出会いの場を保障することは、私たち教師の大事な役割だということを再確認しました。

6月は、水遊び・プール遊びが始まります。梅雨の時期に入り、保育室での遊び、夏らしい遊びなど、天候に応じて環境を整え、指導を工夫してまいります。

個人差はありますが、疲労も出てきますので、ご家庭での生活リズムを整えて、送り出してください。よろしくお祈りいたします。

--	--